

## 令和4年度(2022年度)第4回長房中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和4年(2022年)9月3日(土)9:30~12:00
場所	長房小学校 プレイルーム
出席者	参加者: 縣、宇田、大田原、清水、鈴木、塚本、西山、仁科、野副、本堂、松崎、森、森本、山陰、山中、渡辺、 高齢者あんしん相談センター長房: 古座野 シルバーふらっと相談室長房: 光富 第1層生活支援コーディネーター: 今泉 はちまるサポート長房: 河瀬 八王子地域 PAL-ETTE: 雑賀、三浦 浅川地域事務所: 清水 未来デザイン室: 野田、安齋、牧瀬 (株)アール・ピー・アイ: 岩崎、中井、吉川
配布資料	・令和4年度(2022年度)第4回長房中学校区地域づくり推進会議資料 ・資料1 アクションプランの掲載イメージ ・資料2 地域づくりの必要性と未来像 ・資料3 他市事例の紹介

### 1 開会

未来デザイン室から挨拶。

### 2 本日の議題確認

会議資料をもとに、本日の検討事項を確認した。

### 3 議題

#### (1) 運営担当打ち合わせの報告

8月20日に実施した運営担当打ち合わせで協議した「推進会議の進め方」や「アクションプランの内容」などの主な内容について代表して野副氏から全体に共有いただいた。全体への報告概要は以下のとおり。

< 報告概要 >

・場所は「高齢者あんしん相談センター長房」で開催し、2時間程度の意見交換を行った。Zoomでの参加者がいるなど、対面とオンラインのハイブリッド式という新たなやり方を導入した。

【推進会議】

・推進会議として、アクションプランの最終的な狙いがわからない。

【部会】

・部会は可能な限り対面で開催し、議事概要などを市に共有する。

・推進会議での議論をより良くするために、運営担当打ちあわせ 部会での共有・検討 推進会議の流れがあると良い。

【アクションプラン】

・地域カルテと地域づくり推進計画を各部会が共通して発信する情報としてはどうか。

・SNS 部会からスピード感を持って発信して良いかとの提案があったが、SNSのスピード感を維持しつ

つ、推進会議で情報を共有したうえで、発信するルールをつくるとしてはどうか。

- ・第3回での検討を踏まえ、「地域コミュニティの活性化」として目指すものは、「住民同士のつながりづくり」とする。
- ・取組例としては、防災力の強化、生活支援(高齢者、子ども対象)など。
- ・防災訓練と情報発信を組み合わせることも考えられる。
- ・長房団地では、日頃から防災の準備ができています。長房中学校区の他のエリアにも拡大し、災害に備えておきたい。
- ・地域の避難場所については、今後、少子高齢化に伴う人口減少や人口構造の変化など、地域を取り巻く環境が変化してくるため、長期的な視点をもって検討していく必要がある。
- ・コピオ長房(アルプス)の災害時の連携などを整理し、地域づくり推進計画に盛り込むことも検討したい。

## (2) 部会活動の共有

「地域カルテ」及び「地域づくり推進計画」を各部会が共通して発信する情報とすることを全体で確認し、その後、各部会の発信内容などのアイデアについて部会ごとに検討し、全体に発表した。全体への報告概要は以下のとおり。

### < 報告概要 >

#### 【施設部会】

- ・コピテラスのモニターで情報発信する内容を整理し、事務局と協議するほか、内容をまとめた後にはコピオ長房とも調整していく必要がある。(何分の動画をどれくらいの頻度で放映するか等)
- ・発信に向けて、スケジュールを共有して調整していく必要がある(来年1~2月を予定)。

#### 【SNS部会】

- ・SNSの発信手法として複数のSNS同士を連動させることで、1投稿をすると他のSNSでも発信できる。手間を省け、効率的な方法であるため、今後も活用していきたい。
- ・高齢者にはLINEでの情報発信が良いとの意見もあったが、LINEは他のSNSとの連動ができない。
- ・LINEには「LINE VOOM(旧タイムライン)」という発信したい情報を即時に行う機能があるが、使い方や閲覧の仕方が分からないなどの課題もあるため、今後の運用についても引き継ぎ検討していく必要がある。
- ・SNSの中で、まずは、Instagram、Twitter などから軌道に乗せていきたい。
- ・SNSはスピード感が重要。投稿する方には少し強めの権限を与えることが必要。SNS部会のLINEグループで投稿者が内容を提案し、何人かで確認してOKとなれば投稿していくようなフットワークの軽さを重視したルールを確立させていきたい。
- ・アカウント名の統一も重要。今後調整していく。
- ・SNSで発信してほしいことが他の部会であれば情報をいただきたい。内容、ターゲット層等の希望をまとめて、SNS部会に共有いただき、その内容に応じて投稿していきたい。

#### 【イベント部会】

- ・イベント自体を発信することの認識で考えていたが、イベントを活用して発信することの誤りであったことを改めて共有した。
- ・地域イベントが縮小されているため、まずは試行的に長房団地をターゲットとして、4団地の連絡会に協力をいただきながら、回覧板等を活用して情報発信を行いたい。
- ・住民協だよりが年2回発行される。来年2月の発行に掲載していただけるよう、記事の締切となる12

月 22 日(木)頃に向けて、準備を進めている。

- ・「笑いヨガ」と「の～んびりテラス」を部会独自の発信内容としていきたいといった意見が出ている。
- ・他の部会と連携しながら発信していきたい。

### (3) アクションプランを検討しよう

「地域コミュニティの活性化」につながる「住民同士のつながりづくり」の具体的な取組内容について、第 3 回の検討結果を踏まえた追加の意見やアイデア出し、アクションプランの優先順位付けをグループに分かれて検討し、その後、全体に報告した。全体への報告概要は以下のとおり。

< 報告事項 >

[Aグループ]

- ・子どもを軸にすると多世代交流の機会が作りやすい。
- ・大人が楽しんでいることを子どもにみせることが大事である。
- ・日常的な交流の場を生む取組として、あいさつ運動を行うことで、多世代が交流することができる。
- ・他に交流を生む新しい取組として、ハロウィンイベント、フリーマーケットを開催してはどうか。
- ・既存の取組である体操教室、花火大会、高齢者の集いを活用して、子どもたちとの交流を持つことも合わせて進めていきたい。
- ・学校で毎月実施している防災訓練(避難訓練)と連携し、地域の方が参加できるようにしたい。

[Bグループ]

○検討段階でのアイデア

- ・若者と高齢者のつながりをつくるため、若者が SNS のやり方を高齢者に教えて交流につなげる。
- ・若者が高齢者に化粧・ネイルをしたりしてつながる「おしゃれ教室」を開催してはどうか。重度障害の方へのアプローチとしても効果がある。また、地域ニーズに合うような内容に変えた別の教室を開催しても良いのではないか。
- ・多世代参加型の子ども食堂(地域食堂)。高齢者サロンで取り組んでいるが、学校やコピオ長房(アルプス)との連携も模索していきたい。
- ・在宅勤務の方(主にお父さん)は家で時間を持て余している。会社以外に地域での付き合いをつくることができれば、今後、地域の担い手にもなりうる。例えば、利き酒会とか飲み会などの名目で、あまり堅苦しくない形で地域が集まれる場を設けることができれば、地域にでる良いきっかけになるのでは。

○優先順位付け

- ・No.1: 地域食堂。(多世代が一緒にご飯を食べる)
- ・No.2: 教室。(住民同士で教えあう場づくり)
- ・そういった取組を総称して「長房大学の開校」と位置づけてみてはどうか。学部・学科という名前で学びあえる場ができれば、地域づくりにも参加しやすいのでは。一步外へ出てもらうために面白いことをやってみることも一つの手法。

### (4) 「地域づくりの必要性と未来像」の共有

会議資料をもとに、市が考える地域づくりの必要性と未来像について未来デザイン室から説明を行った。その後、他市事例について(株)アール・ピー・アイから紹介を行った。説明及び紹介に対する意見交換の内容は以下のとおり。

< 意見交換 >

- ・地域の人がたくさん集まる場としての「総会」という認識で間違いはないか。

そうである。地域づくりの活動をまずは小さな範囲で始めていき、一人でも多くの地域の人に参加していただきながら、地域の輪を広げていきたいと考えている。(未来デザイン室)

・新たな仲間づくりとしては、今後実施する地域フォーラムも同様の意味を持つのか。

市で策定した「地域づくり推進基本方針」に基づき、多様な住民が参画できるしくみとしてワークショップやフォーラムを開催することとしている。今後、長房ならではの集まり方の手法を検討し、フォーラムのような形か、総会形式となるかは今後の取組状況によって検討による。(未来デザイン室)

#### 4 意見交換・情報共有

・地域のシンボルカラーを決めていってはどうか。今後の推進会議において引き続き考えていきたい。

・長房住民協議会主催でふれあいウォークを開催するとの報告を受けている。今回は9回目の開催で、令和4年(2022年)9月10日(土)に行うとのこと。コースは、昨年度に関わりがあった法政大学の学生に歩いてもらうために考案したもの。まちの成り立ちや長房がどんな地域なのか知ってもらえる機会となったら良いと思っているとのこと。(未来デザイン室)

・推進会議を地域情報が集まり、共有できる会にしていきたい。

#### 閉会

第5回推進会議や地域フォーラムの開催日程を確認した。

第5回推進会議:令和4年(2022年)10月16日(日)9:30~12:00

地域フォーラム:令和4年(2022年)11月13日(日)14:00~16:00

以上